

2019年度 朝日大学 前期理系 第2問

問題 $a \geq 0, b \geq 0$ に対し、演算 \odot を $a \odot b = a + b - \sqrt{ab}$ と定義する。以下の問いに答えよ。

(1) $2 \odot 3 = \boxed{\text{サ}} - \sqrt{\boxed{\text{シ}}}$ である。

(2) $a \odot b = a$ が a の値にかかわらず常に成立する定数 b の値は $b = \boxed{\text{ス}}$ である。

(3) $a \odot \frac{1}{3} = 1$ を満たす a の値は $a = \frac{\boxed{\text{セ}}}{\boxed{\text{ソ}}}$ である。

S_asahi2019A_42.pbm